

2023職場体験 感想文コンクール

タイトル	たくさんの人の幸福を願って	事務局	102
学校名	酒田市立第一中学校	氏名	小松朋世

私には将来の夢がない。小さい頃はお花屋さんやピアノの先生に憧れていたけれど、今はあの時のような好奇心はない。でも私は直接人と関わって、お互い幸せになれるような仕事につきたいと思っている。例えば医者や介護士。叔母の影響で医者になりたいと思った時期もあったが、しっくりこなかった。たくさん勉強し、体力をつけないとやっていけない仕事だからだ。私は叔母とは違って、体力が人並みか、それより下だ。運動すれば大丈夫かもしれないが、勉強も今以上に頑張らなければならない。険しい道のりを歩まなければならない仕事だ。それでも、お互いを幸せを感じられるような仕事をしたいと思い、私は職場体験先を介護施設の『多機能複合施設 明日葉』にした。

明日葉では三原則の「明るい挨拶・明るい笑顔・明るい声掛け」を心がけており、地域の方々や子ども達と交流しながら、楽しい介護でホッとできるような施設を目指している。そんな施設で働かせていただくことになった私は、担当者さんから言われた中の2つのことに気をつけた。

一つ目は差別なく、どんな人が相手だとしても、「積極的に笑顔で話す」ことだ。相手は体が不自由な方々。中にはうまく喋れない方や、認知症の方、喋る相手がいなく孤独な思いをしてしまっている方もいる。そんな人のために、自由に動けることのできる私達が寄り添ってあげなければならないのだと思った。笑顔は人を幸せにするための最強の兵器だ。実際にやってみると、不思議なことに、相手も自分も笑顔になり、楽しく、嬉しくなれたと感じた。このとき、私はコミュニケーションをとる事は生きている中でとても重要なことだと改めて思った。職員さんや利用者さんはこれをエネルギーにして、毎日頑張っているのではないのかなと思った。コミュニケーションをする際は、笑顔を武器にして話をするとうるやかな感じを出してくれることがわかった。また、自分から話を切り出すことも大切なことだと学んだ。普段は遠慮しがちだが、自分から行動しないことには何も始まらないから、これからの生活に活かしていきたい。

二つ目は「相手を無理やり自分に合わせさせようとするのではなく、自分が相手に合わせる」ことだ。自分の思い通りに人は動かない。特にお年寄りの方々は体が不自由なせいもあり、自分

勝手な介護は最悪の場合、相手の体や心を壊すことにもなる。介護施設は体のことだけではなく、心も清潔で、安定させるという仕事がある。そのため、職員の方々は常に利用者さんとコミュニケーションをとり、ストレスがたまらないようにたくさんのイベントの準備をしていた。どうすれば喜んでくれるか、どうすれば体や心に大きな影響を及ぼさないで楽しくイベントに参加できるかなど、常に利用者さんのことを考えて行動、発言している職員さんが、とても頼もしくてかっこよかった。相手に寄り添う気持ちが人を守ることにつながるのだと思う。この事は友達や家族と関わる中で必要なことだから、日常から心がけていこうと思った。

この2つのことに注意しただけで、人と関わる楽しさを知った。今までは人間関係を壊したくない一心で、苦手な人とは全く喋らない、口数を減らして余計なことを言わないようにする、といった控えめな対応をしてきた。でも、「自分から話に行き、相手に寄り添う」ということを学んで、人と関わることは大切なことだと思い直した。おかげで、今の生活がとても楽しい。そして幸せ！

最初、私は「介護施設を体験するから、お年寄りの人の介護の仕方を学ばせてくれるのかな。」と思っていた。しかし、実際に学んだのはお年寄りの方とのコミュニケーションの取り方だった。「なんでだろう。」と思っていたけれど、これらのことを学んで納得した。「介護の仕方も大事だけれども、人と関わることも大事な仕事なんだ。」と。どの仕事も人と関わらなければ成り立たないことばかりだが、介護の仕事には特に必要な要素だと思った。そして次第に私は介護の仕事に興味が湧いてきた。人を助けることがどんなに嬉しいことか。人と関わって沢山の笑顔をつくれることがどれだけ私達に元気を与えてくれることか。介護の仕事は勉強ができるかどうか、体力があるかどうかではない。どれだけ相手のことを大切にし、関わっていけるかだ。人と自分の幸せを生み出し、守り続けていくために、私は介護の仕事について学び続けていきたい。そして、将来自分が実際に人を助ける側として働けるように、今回学んだことを頭に入れ、今の自分にできることを探してやっていきたい。たくさんの人の笑顔が見れる、幸せな時間を送れるように。